

R SUPPORT

AI Web会議

# Remote Meeting

リモートミーティング 提案書





# Index

- 01 導入背景
- 02 特長
- 03 主な機能
- 04 動作環境と導入方式
- 05 導入事例
- 06 AI基盤のソリューション連携
- 07 認証と特許

# 導入背景

---

01

# なぜ、今多くの企業がWeb会議を導入しているのか

デジタルトランスフォーメーション(DX)を超え、AIトランスフォーメーション(AX)の時代へ。迅速な意思決定、コスト削減、そしてチームの生産性向上実現のため、企業のWeb会議導入は今後も右肩上がりで見込まれると予測されています。

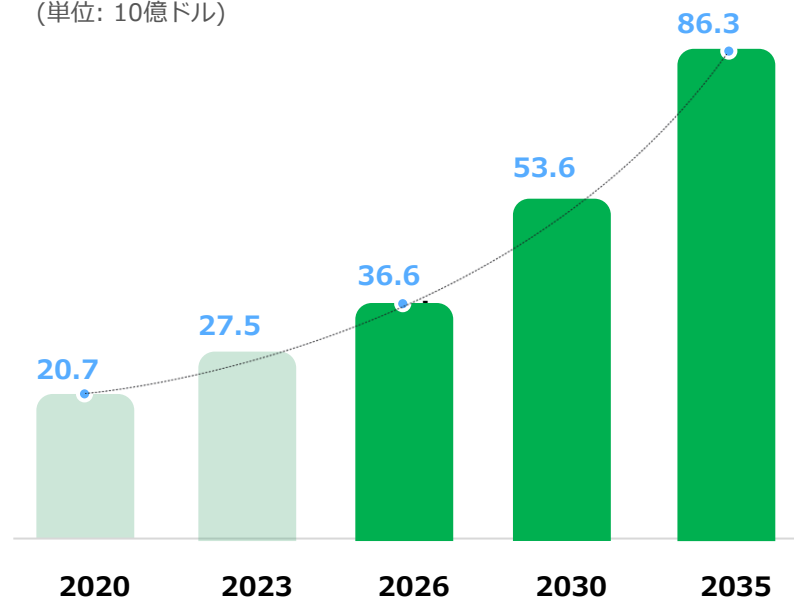
グローバル化の加速、DX推進、AI活用拡大により、法人向けWeb会議市場は2035年までに**年平均12.1%の成長**が予測されています。

(Future Market Insights)

迅速な意思決定と出張費削減のため、多くの公的機関や企業が**Web会議ソリューション**を導入しています。

(Research Nester)

法人向けWeb会議市場の規模予測  
(単位: 10億ドル)



\* 出典: Fortune Business Insights, Video Conferencing Market (2025)

# コスト増大と生産性低下の要因：会議の現状

対面中心の従来型会議は、スケジュール調整から移動、準備に至るまで、不必要な時間とコストを発生だけでなく、意思決定の遅れや組織全体の生産性を阻害する大きな要因となっています。

## 対面会議の構造的な課題

- 調整コスト(日程・場所確保)の増大
- 場所の制約(移動や出張が必須)
- 会議開始の遅延が常態化
- 前後作業(資料作成等)の負担
- 業務再開までにかかる時間

## 発生する具体的な非効率

- ・ 移動や準備に会議時間の30~40%が費やされる
- ・ 会議室不足による外部施設の利用コストが発生
- ・ 移動に伴う疲労と拘束時間の増大
- ・ 出張1回につき数万円単位の経費が発生
- ・ 意思決定が停滞し、後続の業務にも悪影響
- ・ 付随業務を含めると、業務時間の平均30~40%に
- ・ 集中力の途切れによる実業務の生産性低下

対面中心の従来型会議スタイルを見直し、  
コストの浪費と生産性の低下を改善する必要あり

# Web会議がもたらす革新的な変化

Web会議は単なる会議スタイルの変更やコスト削減にとどまりません。時間と場所の制約を解消し、組織全体の**生産性**と**意思決定スピードを最大化**するための**戦略的なインフラ投資**です。

## 1

### コスト削減

- 電気代、冷暖房費、消耗品費など、オフィス運営に伴う**固定費を削減**
- ガソリン代、駐車場代などの**移動経費を30~50%削減**
- 大規模な会議やイベントの会場レンタル費用を大幅削減

## 2

### 業務生産性の向上

- 事前準備など、会議に付随する時間を**25~40%短縮**
- 業務処理スピードと生産性を**20~25%向上**
- 移動・準備時間を最小化して、意思決定のリードタイムを大幅短縮

## 3

### ビジネスの拡大

- 全国各地・グローバル規模で、顧客、パートナーと制約のないリアルタイムなやりとりを実現
- 説明会・懇談会・株主総会などの参加対象や実施範囲を拡大
- 多様な働き方に対応した、ハイブリッドな協業環境を構築

# 企業向けのWeb会議に欠かせない条件とは

企業や公的機関におけるWeb会議システムは、機能面はもちろんのこと、**厳格なセキュリティ基準の遵守や安定した運用管理、さらには組織の長期的な成長**を見据えたコスト効率や拡張性に至るまで、多角的な検討が不可欠です。

## 機能および利便性



- 直感的でスムーズな会議参加と運用
- PC・モバイル等、デバイスを選ばないマルチ環境対応
- ITリテラシーを問わず、誰もが使いこなせるUI/UX

## セキュリティ



- 会議中の映像・音声データの高度な暗号化
- ガバナンス強化のための詳細な操作ログ記録
- 主要なセキュリティ基準や業界規制への準拠

## 運用・管理の効率性



- 大規模ユーザー環境でも維持できる安定したパフォーマンス
- ユーザー権限や会議運営を一元化する統合管理機能
- 利用履歴や稼働状況を可視化するレポート機能の提供

## コストと拡張性

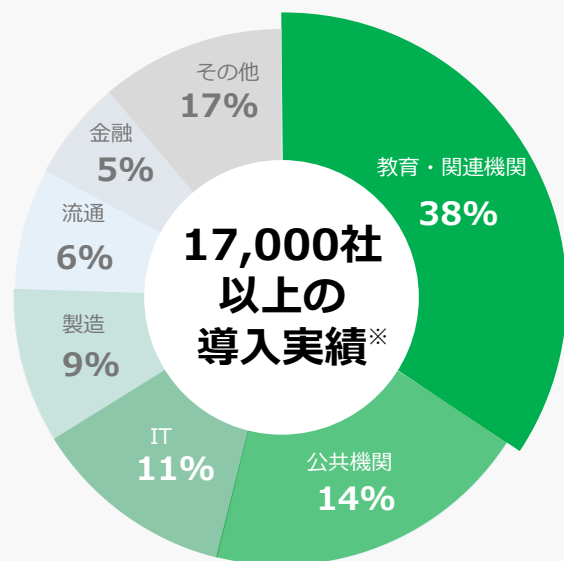


- ユーザー増やシステム拡張に柔軟に対応できるコスト体系
- 長期的なTCO(総保有コスト)の最適化
- 社内システムとの連携・カスタマイズ対応

# 企業と公共機関で選ばれるRemoteMeeting

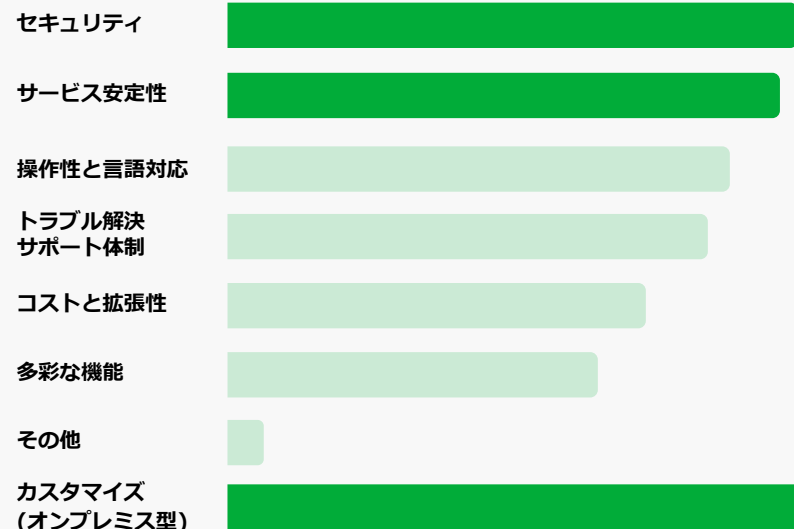
RemoteMeetingは、約17,000社に及ぶ企業や公共機関において、Web会議による時間とコストの削減、業務生産性の向上を実現してきました。高度なセキュリティ、運用の安定性、そして柔軟な拡張性を兼ね備えた「ビジネスの核心インフラ」として確固たる地位を築いています。

## 導入業界・業種の内訳



※RemoteMeetingのグローバル契約社数累計

## RemoteMeetingが選ばれる理由



(導入企業・機関へのアンケート結果/複数回答可)

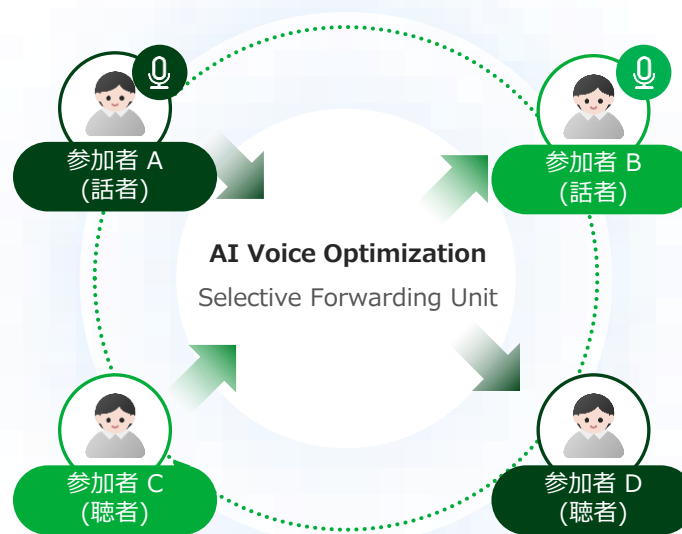
# 特長

---

02

# 独自の技術力で実現した圧倒的な音声品質

AI基盤の音声最適化技術と独自開発のSFU(Selective Forwarding Unit)構造により、参加者のネットワーク状態を自動分析して最適な音声品質を維持。大規模なWeb会議でも遅延のないリアルタイムな音声伝送で、安定したコミュニケーションを可能にします。



遅延のない  
スムーズな  
会話を実現

大規模な  
Web会議環境でも  
ノイズを抑え  
高品質な音声

サーバー負荷を  
最小化する構造により  
安定した運用と  
柔軟な拡張が可能

通信速度が制限された  
ネットワーク環境でも  
クリアな音声を  
送受信

# AI Web会議が実現するスマートな業務環境

単なるAI機能の提供にとどまらず、参加者ごとの環境最適化から会議の準備、進行、記録に至るまで、プロセス全般をAIで自動化。業務生産性の飛躍的な向上に貢献します。



## リアルタイム自動翻訳・字幕

AIが話者の音声を認識し、リアルタイムで字幕表示および多言語翻訳を提供

アップデート予定



## 自動話者認識・分離

AI基盤の音声認識技術により、複数の参加者の音声を正確に判別・分離



## 自動議事録作成・要約

独自開発のSTT(Speech-to-Text)技術とAIを融合。発言内容を自動でテキスト化し、重要ポイントを要約



## 自動ノイズキャンセリング

タイピング音や周囲の生活音、工事の騒音など、集中を妨げる不要な雑音を自動で除去



## 人物検知・仮想背景

人物を精密に認識して背景から分離。仮想背景の適用によりプライバシー保護を強化

# 日本のビジネス慣習と組織運営に最適

RemoteMeetingは、Zoomなどの一般的なWeb会議ツールにありがちな「参加者任せの操作」ではなく、**日本の会議文化に不可欠な「進行役(モデレーター)による一括制御」**を重視。ITリテラシーを問わず、あらゆる組織がスムーズに導入・運用できる環境を提供します。

## 一般的なWeb会議ツール

## RemoteMeeting

### 会議運営の統制力

#### 参加者の自主性に依存

- 参加者のマイク・カメラの進行を妨げる
- ITに不慣れな参加者への対応に時間が取られる

#### 「進行役モード」で強かに統制

- 進行役が全参加者のマイク・カメラを一括または個別で強制制御(On/Off)
- 資料共有や発言権限を進行役がコントロール

### 画面共有の視認性

#### 各自の画面設定がバラバラ

- 「今どこを見ればいいのか」指示が伝わりにくい
- 参加者によりレイアウトが異なり、混乱を招く

#### 全参加者の画面を「完全同期」

- 進行役が指定した発表者を全参加者の画面に強制固定(ピン固定)
- 画面レイアウトを全員共通に保ち、資料への集中力を最大化

### UIの親和性とサポート

#### 海外仕様のUIと機械的な翻訳

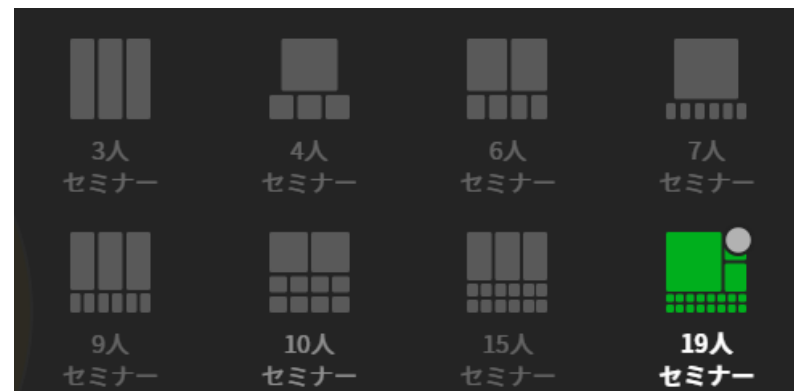
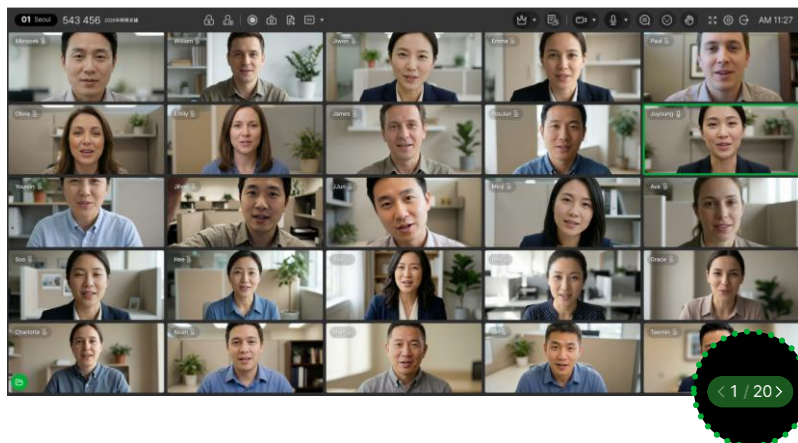
- メニュー名が分かりづらく、操作に迷うことが多い
- サポートが英語中心、または自動返答で解決が遅れる

#### 日本語UIと国内サポートの安心感

- 迷わず操作できる日本語UI
- 運用方法からトラブル解決まで、日本語で安心の国内サポート

# 大規模会議とウェビナーの安定運用

最大500名の同時接続に対応。大規模な人数が参加する会議でも、音声や映像の途切れがない安定したコミュニケーションを実現します。社内研修やウェビナーも、専門知識不要で簡単かつスムーズに運営可能です。



## 最大500名の同時接続が可能

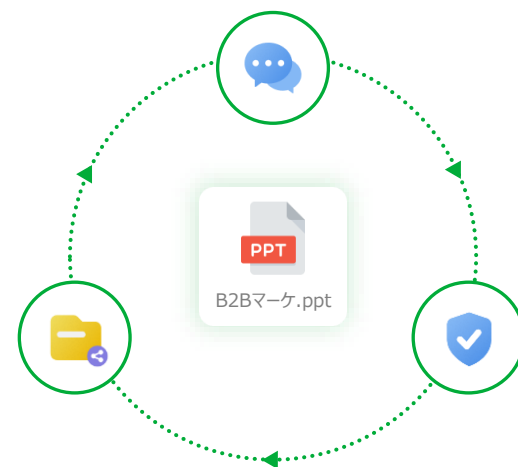
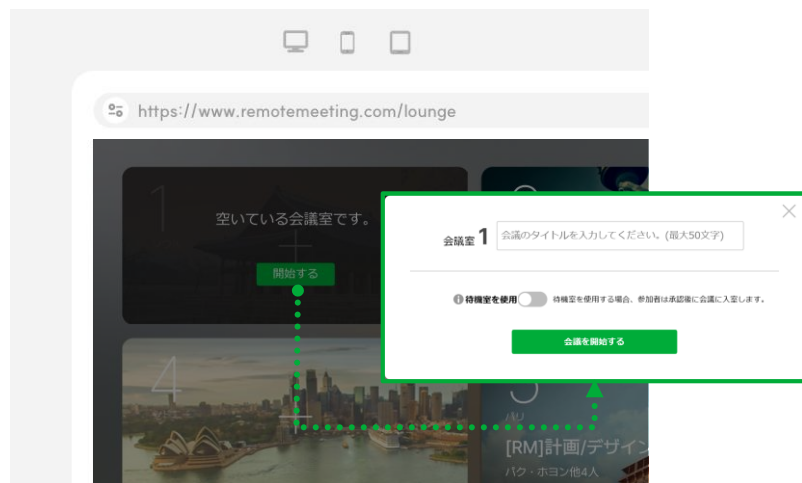
- 映像・音声の途切れや遅延が発生しにくい安定した配信環境を提供
- 全社会議、タウンホールミーティング、事業説明会など、大人数が集まるシーンで威力を発揮

## セミナーモード(ウェビナー対応)

- 参加者の視点を発表者に集中させる最適な画面構成が可能
- 発言リクエストと承認により、大人数でも混乱のない質疑応答を実現
- オンライン教育、採用説明会、ウェビナーなど幅広い用途に対応

# ワンクリックで完結するスマート協業

RemoteMeetingは、専用ソフトのインストールが一切不要なWebRTCベースのWeb会議プラットフォームです。Webブラウザさえあれば、誰でも素早く「作成・招待・参加」が可能。資料共有もワンクリックで完結し、ストレスのない円滑なコラボレーション体験を提供します。



## 圧倒的なスピードで会議を開始

- Web(WebRTC)ベースのWeb会議
- プログラム・ドライバのインストールや更新・パッチ適用が不要。特許取得の「ラウンジ」からワンクリックで入室
- 会議室オブジェクトを活用したWeb会議手法にて特許取得済

## 資料共有をより簡単に、スムーズに

- 「共有ボックス」で複数資料をスムーズ共有
- ダウンロードや権限リクエストの手間が不要
- チャットを通じてファイルの個別共有や保存が可能

# 信頼に応える優れたセキュリティ

強固なセキュリティ技術を搭載したWeb会議プラットフォームRemoteMeetingは、企業や公共機関が求めるさまざまなセキュリティ管理機能を提供し、コンプライアンスの遵守に貢献します。



## セキュリティ技術

- ブラウザハッキングの遮断
- 強力な暗号化アルゴリズムの適用
- IETFセキュリティ標準への準拠
- 共有ドキュメントの暗号化および自動破棄



## セキュリティ管理機能

- 認証済みユーザーのみ招待可能
- アクセスおよび利用履歴の管理
- 非公開会議における機密性の確保
- パスワード・録画ファイルの暗号化保存



## 多角的なセキュリティ検証

- 情報セキュリティ管理の国際認証取得 (ISO/IEC 27001:2022)
- 外部専門機関による定期的な脆弱性診断 (ISO/IEC 27017:2015)
- KISA(韓国インターネット振興院)による包括的コンサルティングの実施

# ビジネスに最適なWeb会議 : RemoteMeeting

会議および協業プロセス全般にAIを実装したRemoteMeetingは、強固なセキュリティ、サービスの安定性、そして組織のニーズに応える独自機能により、他のWeb会議プラットフォームとは一線を画す最適なビジネス環境を提供します。

## AIの標準実装

アップデート予定



ノイズ除去、音声認識による話者分離、リアルタイム字幕・翻訳、さらには議事録作成まで。AI技術を実装し、法人向けWeb会議における協業の新たな基準を提示します。

## 強固なセキュリティ



検証済みのセキュリティ性能と多彩な管理機能により、企業や公共機関が求める高度な安全基準をクリア。コンプライアンスの遵守を強力にサポートします。

## 組織の運用に最適化



日本のビジネス慣習や組織の運用に最適化された独自機能を提供。外資系Web会議プラットフォームにはない使い勝手の良さと、質の高い協業体験を実現します。

## サービスの安定性



SLA(サービス品質保証)基準を超える99.9%の稼働率を維持。安定したパフォーマンスにより、企業の業務継続性(BCP)確保に貢献します。

# 主な機能

---

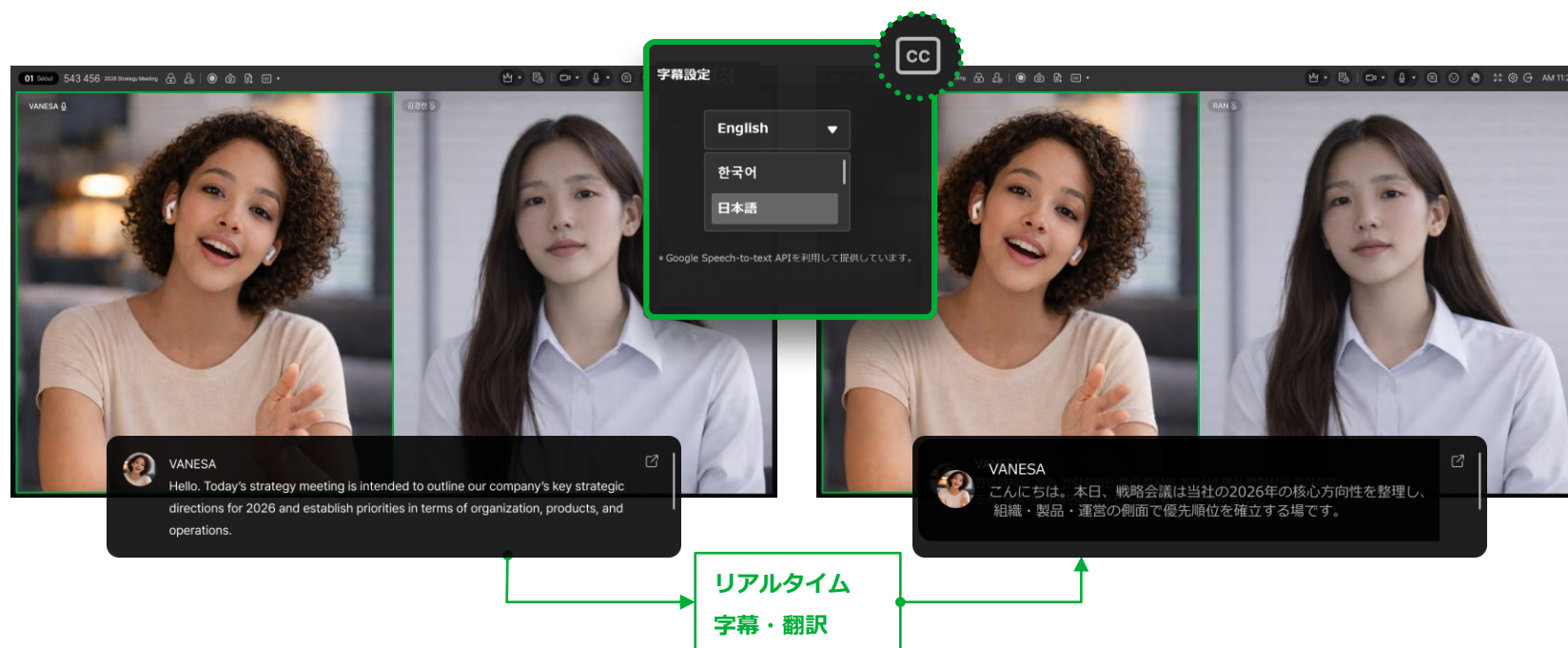
03

# AI機能 リアルタイム字幕・翻訳

アップデート予定

STT(Speech-to-Text)ノウハウとAI技術を融合。参加者の発言をリアルタイムで字幕化し、各自の言語に合わせた翻訳を提供することで、会議の理解度を高め、グローバルな協業を促進します。

## 会議の理解度向上とグローバルな協業の強化



### 環境による制約の解消

音を出せない状況や聞き取りにくい環境でも、字幕表示により正確な内容把握が可能です。

### デジタル・インクルージョン

言語の壁を取り払い、誰ひとり取り残さない円滑なコミュニケーション環境を提供します。

### グローバル協業の拡大

通訳を介さず、海外拠点やパートナーとリアルタイムに直接的な意思疎通・協業が可能です。

# AI機能 議事録作成

AIが会議の内容を自動で記録・要約し、主要なアジェンダや決定事項を整理。議事録の共有といった後続業務を大幅に簡略化できるため、業務生産性を飛躍的に向上させます。

## 会議への集中力および業務生産性の向上

The screenshot displays a web interface for a meeting transcript. On the left, a sidebar shows a navigation menu with a back arrow and the text '2026戦略会議議事録/要約版'. The main content area is titled '2026年戦略会議 議事録要約' and includes a date '2025年12月2日 10:03'. There are buttons for '要約版' (Summary) and 'スクリプト' (Script). Below the title, there is a '要約' (Summary) section with detailed text about the meeting's agenda and decisions. A '詳細内容' (Full Content) link is visible at the bottom of the summary section. On the right, a '議事録共有' (Share Transcript) modal is open, featuring a share icon, a close button, and a text input field for participants' names and email addresses. A green '送信' (Send) button is located at the bottom of the modal.

### 会議への集中力向上

メモ取りではなく会議そのものに集中できるため、内容の理解度と意思決定のスピードが向上します。

### 煩雑な業務の解消

会議終了後、AIが自動生成した議事録の要約版をメールですぐ共有。手作業による作成・配布の手間を解消します。

### 会議記録の資産化

会議の記録を組織の「資産」として蓄積・管理。キーワード検索だけで、必要な情報をいつでも素早く確認可能です。

# AI機能 自動ノイズ除去

参加者の発言時、周囲の騒音や雑音を自動的に除去。クリアで鮮明な音声を届けることで、参加者が会議に集中できる環境を整えます。

## 周囲の雑音を排除し、会議への集中度アップ



### 音声の自動認識・分離

騒音の中から「人の声」だけを自動的に判別・分離して伝送します。

### 途切れない音声伝送

各参加者の接続環境に合わせて自動で最適化。遅延や音切れのないスムーズな伝送を実現します。

### 会議疲労の軽減

「聞き取り」に過度な集中力を割く必要がなくなるため、長時間の会議でも疲れにくい環境を提供します。

# AI機能 人物分離とバーチャル背景

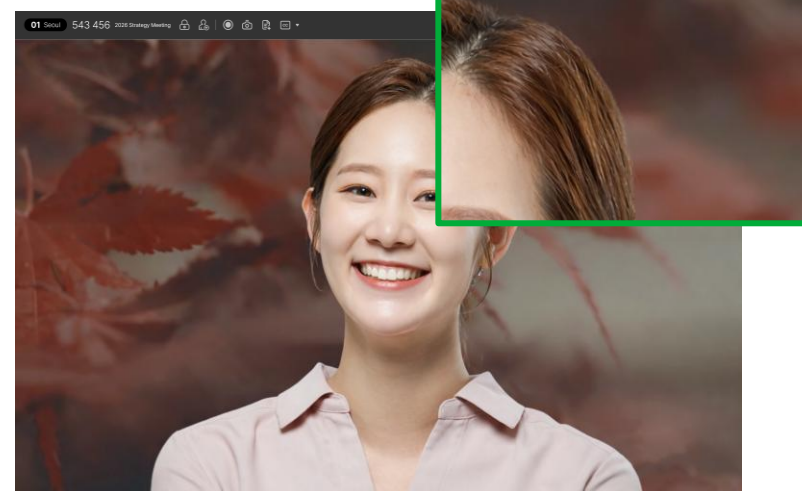
人物と背景をより正確に判別し、精巧に分離。背景のぼかし処理や仮想背景の適用により、プライバシー露出の不安を解消し、会議に集中できる環境を提供します。

## 精巧な人物分離と背景ノイズの除去

他社製品



RemoteMeeting



### プライバシー保護

周辺のプライベート空間の露出を気にせず、どこからでも安心して会議に参加できます。

### 画質の向上

独自の技術により、CPUやGPUへのリソース負荷を抑えながら、鮮明な高画質を実現します。

### 目の疲れを予防

不要な視覚情報を最小限に抑えることで、目の疲れを予防することができます。

# 協業機能 共有ボックス

単なる画面共有とは異なり、「共有ボックス」は対面での発表体験をそのままオンラインで再現。複数の発表者がよりスムーズに資料や画面を共有できるため、効率的な協業と迅速な意思決定を後押しします。

## 安全で効率的な共有で深い議論と協業を実現



### 共有スピードと正確性の向上

- 共有ボックスへ複数の発表者の資料を事前にアップロード可能
- ワンクリックで資料や画面を素早く共有
- 発表者交代時の待機時間を解消
- 「個人表示」または「全員表示」の切り替えに対応
- 共有資料への描画が可能

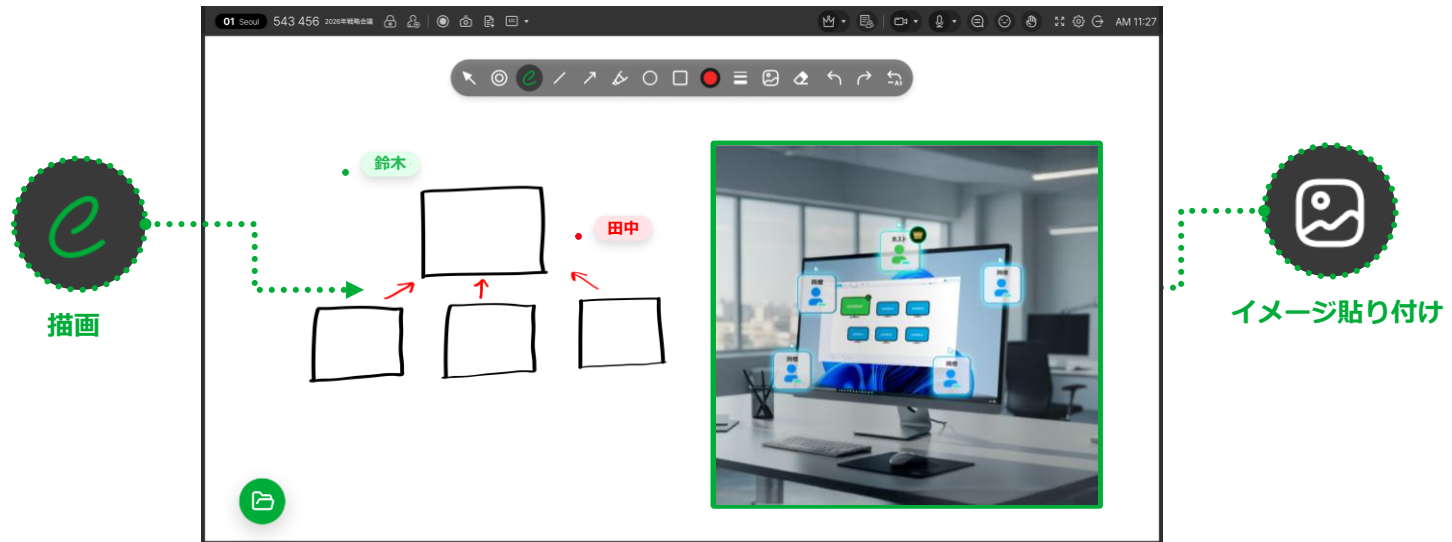
### 情報漏洩の防止

- 共有資料のダウンロードや転送の制限が可能
- 共有資料の暗号化、および会議終了時の自動破棄
- 重要資料の外部流出を徹底防止

# 協業機能 ホワイトボード

「ホワイトボード」を開いて書き込んだり、画像を挿入したりすることで、相互理解を深めることができます。マルチモニター環境であれば、ホワイトボードと参加者を同時に表示できるため、会議への没入感を維持できます。

視覚的な表現により相互理解を促進し、協業を強化



## アイデアの可視化

描画や画像の貼り付けを通じてアイデアを可視化し、正確な意思伝達が可能です。

## 双方向の協業が可能

発表者をはじめ、すべての参加者が同時に書き込みを行うことで、双方向の協業が可能です。

# 協業機能 チャット

発表画面を妨げないよう設計されたチャット画面を通じて、会議の流れを損なうことなく、個別の会話や資料共有が可能です。

## 会議の流れを止めないリアルタイム参加・コミュニケーション



サイドパネル方式で  
非表示が可能

チャット画面での  
ファイル共有・保存

発表を妨げず  
参加者同士の自由な  
意見交換が可能

ウェビナーや  
オンライン教育時の  
質問・参加を促進

# 制御機能 進行役モード

世界中のWeb会議ツールの中で、RemoteMeetingだけが提供する「進行役モード」。参加者の画面構成や操作権限を一括で制御し、規律ある安定した会議運営を可能にします。

## 進行役による会議のコントロール



### 会議の妨げを最小化

参加者のマイク・カメラ・共有権限を、進行役が中央から一括で制御可能です。

### 特定の人物への集中度を向上

発表者を全参加者の画面に強制固定(ピン固定)し、個別のレイアウト変更を制限できます。

### 進行の効率化による協業の強化

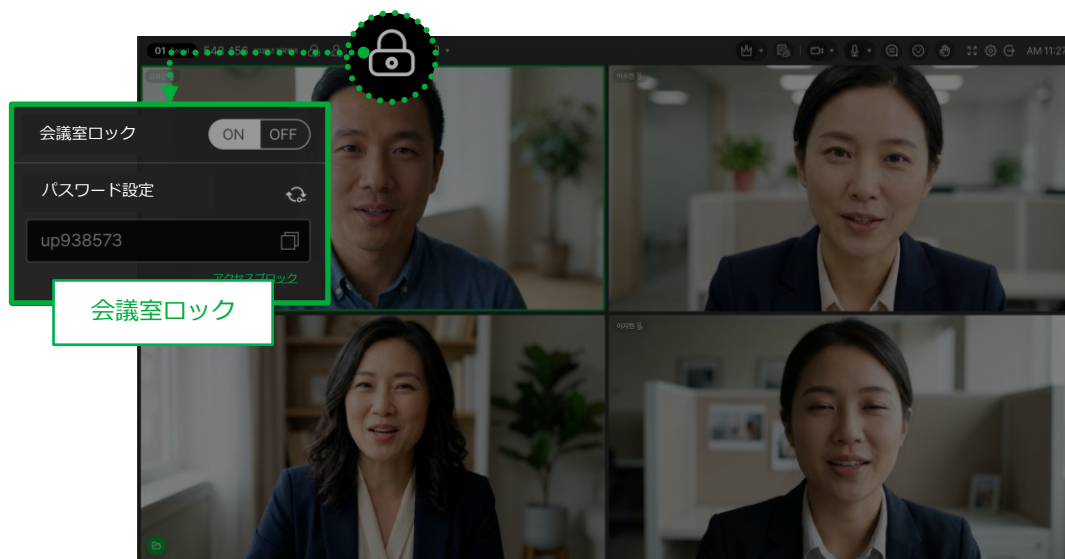
発言リクエスト機能で発言を管理。大規模な会議でも混乱を防ぎ、スムーズな協業を促進します。



# 制御機能 会議室ロック

「会議室ロック」による強力な入室制限で、会議の妨げを予防。未認可ユーザーの無断アクセスを遮断し、重要情報の流出などセキュリティ事故を防止します。

## 会議開始後も維持される強力なアクセス制御



会議室への入室時に  
パスワードを入力

パスワードを入力してください。

ロックされている会議室です。  
パスワードを入力して入室してください。

パスワードを入力してください。

確認

### 重要情報の漏洩防止

- 重要な会議の進行時、外部参加者の無断入室を遮断
- 機密情報の流出リスクを最小化

### 会議への妨害(Zoom Bombing)のブロック

- 会議をロック状態に切り替え、追加の入室を制限
- 予期せぬ参加者による混乱を防止

# パーソナル機能 マルチタスク対応

PIP画面のサイズを自由に調整でき、Web会議の内容を逃さず同時に他の業務を処理できるため、業務の連続性維持と生産性向上が可能です。

自由なウィンドウサイズ調整で、Web会議と他の確認業務を同時に!



## Web会議への集中度を維持

- PIP画面により、リアルタイムで会議の内容や流れを把握可能

## 会議中の作業も快適に

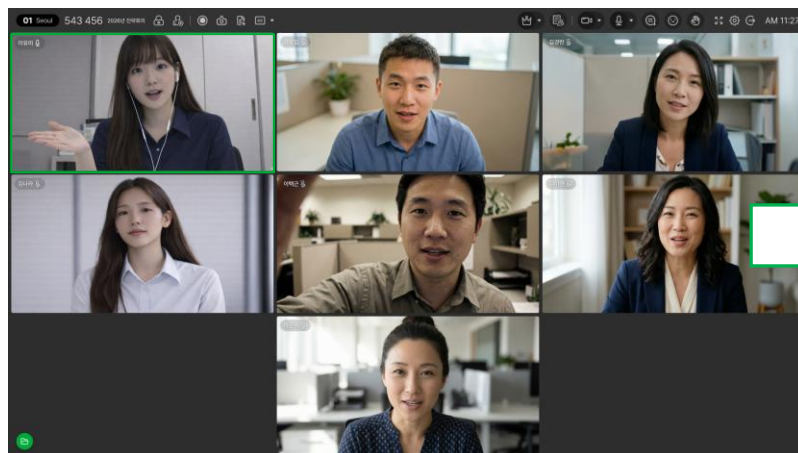
- 資料やメール確認も快適に行うことが可能

# パーソナル機能 画面レイアウト変更

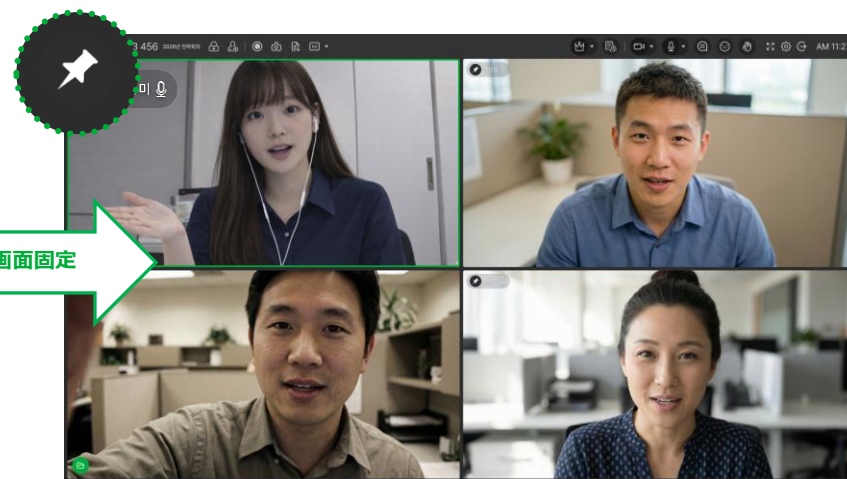
全参加者が同じ画面を見る必要はありません。各自のWeb会議参加目的や関心に応じて、発表者や特定の参加者を拡大・固定するなど、画面構成を自由に設定できます。

一人ひとりに最適化されたWeb会議体験を提供

## 共通の画面構成



## 選択可能な画面構成



### 個人に最適化

- 目的や関心に合わせて参加者を選択・固定可能(ピン固定)
- 最大4人まで同時にピン固定が可能

### 集中度アップ

- 発表者、VIP、主要な発言者に集中可能

### 参加者中心の体験

- 進行役ではなく、参加者一人ひとりが主役となるWeb会議環境

# パーソナル機能 各種設定

Web会議に参加する前に、カメラやマイクの状態からネットワークの接続状況まで事前にチェックできます。また、基本設定で、表示名やプロフィール画像を簡単に変更できます。

## 簡単な各種設定で遠隔なWeb会議環境を実現



## プロフィール設定



## 事前チェック

- 開始画面のアイコンクリックでカメラ・マイクの接続状態を確認し、デバイスのエラーを未然に防止
- ネットワークの接続状態を事前に点検し、安定した状態でWeb会議に参加可能

## ユーザー情報とプロフィール設定

- 基本設定メニューから名前などのユーザー情報やプロフィール画像を簡単に管理可能

# パーソナル機能 会議の開始・招待・参加

RemoteMeetingは特許取得済みの「ラウンジ」とさまざまな招待方式で、誰でもすぐ簡単に会議を開始・招待・参加できる便利なWeb会議環境を提供します。

誰でもすぐ簡単に会議の予約・開始・招待・参加が可能



## 会議の開始

- 「ラウンジ」からワンクリックですぐに会議を開始

## 招待

- URLや6桁の接続コードを共有
- 登録済みアドレス帳から一括メール送信
- 定期・繰り返し会議の予約時には案内メールを自動送信

## 参加

- 共有されたURLクリックまたは接続コードの入力で参加
- 招待メールのURLから直接参加
- 「ラウンジ」から対象の部屋をクリックして参加

# パーソナル機能 話者感知機能

現在の発言者を自動で検知し、強調された画面で表示する「話者感知機能」。参加者はWeb会議の流れをひと目で把握でき、長時間の会議でも高い没入感を維持できます

## 発言者を中心とした、わかりやすい会議画面レイアウト



### リアルタイムでの発言者の感知

- 参加現在の発言者を自動的に感知して表示するため、会議の流れや内容に集中できる

### 画面構成の最適化

- 参加人数や発言状況に合わせて、画面構成を自動的に調整

### 認識力の強化

- 大規模なWeb会議でも発言者を一瞬で特定し、状況を正確に把握可能

# 運用機能 記録と管理

会議の内容を高品質な録画ファイルとタイムラインベースで体系的に保存・管理することで、会議の**内部記録資産化**や、**セキュリティ監査・コンプライアンス対応の根拠資料**として活用できます。

## 会議記録の内部資産化



## Web会議の録画と個別保存

- 高画質な映像と音声でWeb会議を録画・保存可能
- 参加者ごとに録画ファイルの保存・管理が可能

## 会議内容および履歴管理

- 保存されたファイルを意思決定や内部教育資料として活用可能
- セキュリティ監査およびコンプライアンス対応に活用可能

# 動作環境と導入方式

---

04

# 動作環境

PC、スマートフォン、タブレットなど、デバイスやOSを問わずご利用いただけます。  
柔軟なアクセス環境により、いつでもどこでもスムーズなWeb会議による協業を実現します。

## PC

最新の動作環境につきましては、ヘルプデスクにてご確認ください。

[RemoteMeeting Helpdesk - RemoteMeetingの動作環境](#)

## モバイルアプリ



# 導入方式

RemoteMeetingは、企業や機関の規模、インフラ環境に合わせた最適な導入方式を提供しています。



## サブスクリプション型 | SaaS

複雑な構築プロセスなしに、アカウント作成後すぐに利用可能な方式です。利用規模や組織環境に合わせて、多様な料金プランを提供しています。

**おすすめ** 導入してすぐに使いたい企業



## 構築型 | On-premise

企業内のサーバーにRemoteMeetingを直接インストール・運用する方式です。独立した自社運用が可能で、セキュリティポリシーに合わせたカスタマイズや他システムとの連携もサポートします。必要なWeb会議機能のみを選択して連携する、API方式も提供しています。

**おすすめ** 社内ネットワークで運用する公共・金融・大企業



## ハードウェア型 | Hardware

Web会議に必要な機器とソフトウェアをオールインワンで提供する「RemoteMeeting BOX」ならTV・カメラ・マイクに接続後、電源を入れてボタンを操作するだけで会議を開始できます。

**おすすめ** 会議室を中心にWeb会議を運用する企業

# 導入事例

---

05

# 導入企業

17,000社を超える企業や公共機関が、RemoteMeetingを活用して、より効率的な協業と迅速な意思決定を実現しています。

<p>公共機関 (韓国)</p>	    	    	    	    	    
<p>製造</p>	 	 	 	 	 
<p>建設</p>					
<p>サービス</p>					
<p>金融・保険</p>					
<p>医療</p>					

# 導入事例 韓国 警察庁

韓国警察庁では、集合研修の効率化と移動コストの削減を目的に、RemoteMeetingによるオンライン研修を長年にわたり実施しています。単なるWeb会議の枠を超え、大規模な教育プラットフォームおよびナレッジ共有(協業)を支えるインフラとして定着しています。

## 導入の背景

- 集合研修など、定期的な義務教育の効率化。
- 全国規模および各地方庁間での同時研修の実現。
- 外部講師を招いた大規模な教育環境の整備。

## RemoteMeetingの活用

- 最大500名が同時参加にも対応。
- 安定した音声・映像でストレスのない受講環境。
- カメラ・マイクの一括制御で、規律ある研修。

## 導入の効果

- 移動時間および関連コストを大幅に削減。
- 受講率の向上と柔軟なスケジュール管理を実現。
- 外部の専門講師による高度な教育へのアクセシビリティが向上。



RemoteMeetingによるオンライン研修のイメージ

# 導入事例 韓国 高陽市都市管理公社

管内30カ所以上の事業場を運営する高陽市都市管理公社では、海外製ツールからRemoteMeetingへ切り替えることで、分散した組織間の会議を効率化。緊急時の報告体制や迅速な対応スキームを構築しました。

## 導入の背景

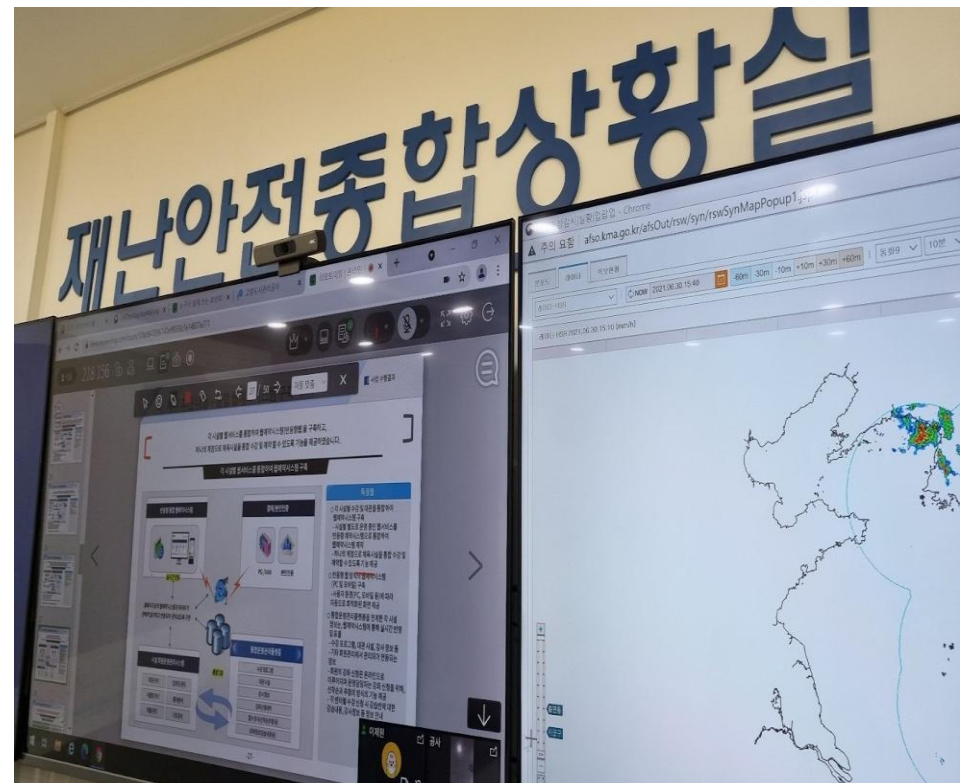
- 50名規模の週次会議など、頻繁な会議の効率化。
- 各拠点間の移動に伴う時間とコスト削減ニーズ。
- 海外製ツールの複雑な操作性やUIに対する現場の不満。

## RemoteMeetingの活用

- 信頼できる高い安定性。
- 直感的なUIで、マニュアル不要の操作性。
- 緊急時でもすぐ会議へ参加できるモバイル対応。

## 導入の効果

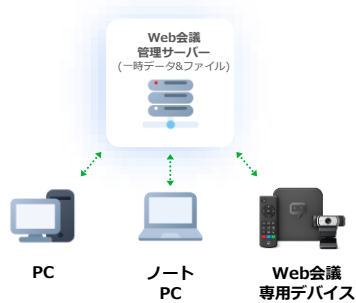
- 台風や長雨などの災害発生時、モバイルを活用した迅速な報告・対応体制を確立。
- 分散した拠点間での協業効率が向上し、大幅なコスト削減に成功。



RemoteMeetingを活用した会議の様子

# その他の導入事例

## 韓国金融決済院 (KFTC)



### 導入の背景

- 既存システムの老朽化に伴い、高いセキュリティと利便性を両立した、アクセスの容易な環境が求められていた。

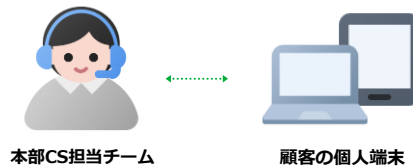
### RemoteMeetingの活用

- 社内ネットワーク(オンプレミス)にRemoteMeeting構築で、PCでの円滑な拠点間会議を実現。
- 会議室にRemoteMeeting BOXを導入し、リモコン操作一つで誰でも簡単に会議室を開設・利用できるよう構成。

### 導入の効果

- オンライン会議の定着で、感染症対策と業務継続性を両立。
- リモートワークでも、RemoteMeeting BOXを活用した効率的なチーム会議や拠点間連携を実施。
- 直感的なUIで初めてのユーザーも迷わず操作でき、フロアをまたいだWeb会議利用が活性化した。

## 韓国中小ベンチャー企業振興公社



### 導入の背景

- 以前はZoomでオンライン研修や相談業務を行っていたが、セキュリティ懸念や運用上の課題が浮上。
- セキュリティが堅牢で、公的機関への導入実績が豊富な製品としてRemoteMeetingを選定。

### RemoteMeetingの活用

- ドキュメント共有や画面共有機能を活用し、対面しながらのオンライン研修を実施。
- 従来の対面相談をWeb会議による非対面相談へと切り替えたほか、機関間の協業においても幅広く活用。

### 導入の効果

- オンラインでも、オフライン研修に引けを取らない高い教育効果を確認。
- オンラインとオフラインの同時開催(ハイブリッド開催)により、受講率の向上に大きく寄与した。

## 韓国技術教育大学校



### 導入の背景

- オンラインの職業教育エコシステムと雇用セーフティネットを構築するためのプラットフォームとして、Web会議ソリューションを導入。
- 職業訓練に最適な機能を備えたRemoteMeetingを選定。

### RemoteMeetingの活用

- オンライン講義を実施。
- 講義終了後は録画機能を活用し、学生の復習や再学習を支援。
- ドキュメント共有や画面共有により、教育コンテンツをスムーズに配信。

### 導入の効果

- 場所の制約を受けることなく、安定した教育プログラムを提供。
- 録画や資料共有などの多様な機能を活用し、質の高い職業人材の育成に貢献。

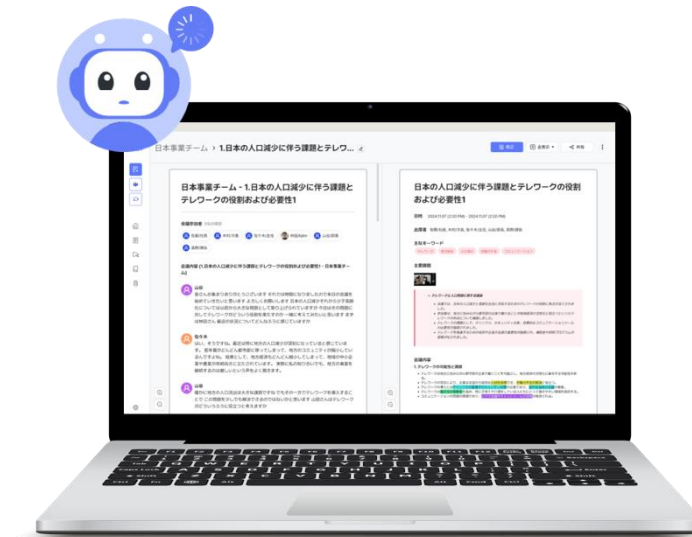
# AI基盤のソリューション連携

RemoteMeeting + Ai:repoto

06

# Ai:repoto

Ai:repoto(エイアイレポト)は、会議の内容を自動で要約し、実務に活用できるAI議事録作成サービスです。



## 議事録の自動作成

議事録の作成を自動で開始。作成から要約までをシームレスに自動化することで、参加者全員が会議そのものに集中できる環境を提供します。

## 効率的な業務活用

会議の概要だけでなく、キーワード、今後のスケジュールまで一目でわかります。業務を体系的かつ効率的に管理することが可能です。

## 共有と協業の拡大

作成された議事録は、同僚や関係者へ即座に共有可能。チーム内での相互理解を深め、円滑な協業を実現します。

# Ai:repotoが選ばれる理由

Web会議はもちろん、オフラインでの対面会議、録音・録画された会議まで、別途プログラムのインストールや複雑な設定をすることなく、Webブラウザから素早く簡単に、一貫した品質の議事録を作成できます。

議事録の標準化で組織全体の記録管理をよりスマートで効率的に



## オンライン会議

RemoteMeetingなどでオンライン会議を開始する際、Ai:repotoボットを招待するか、会議のリンクをAi:repotoに入力すれば、自動で議事録を作成。

- 主要Web会議プラットフォームに対応
- Zoomプラグイン連携が可能



## オフライン会議

Ai:repotoアプリ、または「今すぐ記録」機能で会議内容を録音するか、画面と音声を同時に録画。会議終了後に自動で議事録を作成。



## 録画・録音された会議

スマートフォンやレコーダー、ビデオカメラなどで録音・録画したメディアファイルをAi:repotoにドラッグ&ドロップするかアップロードして、議事録を生成。

# Ai:repotoが選ばれる理由

会議を単に記録するだけでなく、話者の区分、参加者の認識、文脈・推論分析、そして要約まで。AIによって正確かつ体系的な議事録を自動で完成させます。



## 参加者(話者)の自動識別

議事録ソリューションで唯一、最大**20名の参加者の声**を分析し、個別に識別することが可能です。



## 自動話者認識と分離

音声登録すれば、すべての会議で該当する参加者を自動で認識可能です。



## 文脈分析

会議全体を文脈から分析することで、**99.8%の精度**で同音異義語や外国語表現まで判別し、正確なテキストを作成します。



## 精度の高い推論と要約

精度の高い推論で主な議題やキーワードを分析。タスクやスケジュールを要約・整理して提示します。  
→ 検索や共有がよりスムーズに。

# Ai:repotoが選ばれる理由

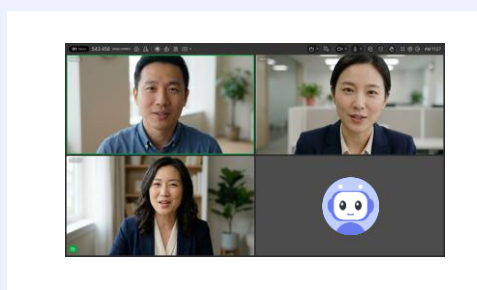
Ai:repotoは様々なWeb会議プラットフォームで使用でき、Web会議の際にAi:repotoボットを招待するだけで、会議の開始と同時に自動で議事録作成を開始します。

議事録や報告書の負担なく、全員が会議に集中して、より良い意思決定を可能に



## Ai:repoto BOTを会議に招待

メールでWeb会議にAi:repotoボットを招待するか、Ai:repotoに会議URLを入力します。



## 自動で議事録作成開始

会議に参加したAi:repoto Botが、自動で議事録を作成します。



## スピーディな議事録共有

会議終了後、議事録をメールですぐに共有できます。

# Ai:repotoが選ばれる理由

規模やインフラ環境に合わせて選べる導入方式で、使用中のLLMともスムーズに連携が可能です。



## サブスクリプション型 | SaaS

複雑な構築プロセス不要で、アカウント作成後すぐに利用可能です。規模や組織の環境に合わせて、さまざまな料金プランから選択いただけます。

おすすめ 導入してすぐに使いたい企業



## 構築型 | On-premise

企業や機関の内部ネットワークに構築する方式で、組織内の既存システムと連携して独立運用することができます。

おすすめ 社内ネットワークで運用する公共・金融・大企業

### + [+] 組織内LLMとの連携

ChatGPT、Claude、Lucia(Saltlux)、Solar(Upstage)、A. (SKT)、Exaone (LG)、HyperCLOVA X (NAVER) など、使用中のLLMと連携が可能です。

# Ai:repositoが選ばれる理由

RemoteMeetingとAi:repositoの連携で、会議から記録・共有までを自動化するスマートな協業環境を構築。不要な業務を最小化し、コミュニケーションの活性化と組織の生産性向上を実現します。

## 会議録画の自動連携と議事録生成



### リアルタイム協業と会議運営の最適化

- インストール不要のウェブブラウザベースのWeb会議
- 画面・資料共有、双方向ホワイトボード、録画、チャットを統合した協業環境
- 直感的なユーザーUI/UX
- 途切れのない安定した接続と音声品質の自動最適化
- 録画映像の管理、個人情報暗号化など強力なセキュリティ



### 議事録作成・共有の自動化と生産性向上

- 会議終了後すぐ(または動画・音声ファイルのアップロード時に)議事録を自動生成
- 音声分析と学習による参加者の自動認識
- 自動記録と要約、キーワード抽出、文書作成の自動化
- 組織内の専門用語などの代替単語管理による精度の向上
- グループ・ユーザー間での共有および共同編集
- 多様なレポートテンプレートの生成とスムーズな共有

# スマート協業環境の構築事例

韓国国民体育振興公団(KSPO)は、高いセキュリティ水準を満たすRemoteMeetingとAi:reptoを導入。内部LLMとの連携で業務効率が向上し、スマートな行政運営を実現しました。



全国の担当者との会議をオンライン化することで、より**柔軟な会議運営**が可能になりました。内部用語が正確に反映されるAI自動議事録のおかげで、文書作成のスピードが上がり、**品質の均質化**も図れました。今後は蓄積された高品質な会議データを、政策推進のための資産として活用していく予定です。



韓国国民体育振興公団 スマート行政システム構築担当



## 導入の背景

- 多様な利害関係者との協議のため、頻繁に会議が発生
- 記録者によって議事録や報告書の品質にバラつきがある
- 頻発する会議と手書きの議事録作成による非効率の増大
- 手書き議事録ではデータの二次活用に限界がある
- 公共機関のセキュリティ要件を満たす会議システムが必要



## RemoteMeeting

- 内外とのリアルタイムなコミュニケーションおよび協業
- 機関同士の会議や大規模会議のオンライン開催
- 公共機関のセキュリティ要件を充足

## AIスマート協業環境の構築

## Ai:repto

- 会議終了後、即座にSTTベースのAI議事録を自動生成
- 内部LLM連動によるカスタマイズされた文書作成
- 会議データの蓄積・管理を通じた意思決定根拠の確保



## 導入効果

- 頻繁なオフライン会議の削減で時間とコストを大幅削減
- 会議記録の自動化による文書作成業務の効率化
- 議事録品質の標準化および行政の透明性・一貫性の確保
- 会議記録のデータ化による内部資産化の実現
- AIベースの業務プロセス転換による行政生産性の向上

# 認証と特許

---

07

# 認証と特許

RemoteMeetingと開発社であるRSUPPORTは、検証された技術力と強固なセキュリティにより、企業や機関へ安全で安定したコミュニケーション環境を提供します。

## 認証



**ISO/IEC 27001:2022**  
**ISO/IEC 27017:2015**

情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格



**プライバシーマーク**

適切な個人情報保護と管理に関する認証

## 主な特許

- 01** 会議室客体を用いたテレビ会議方法 (日本 特許第7187141号)
- 02** PORTRAIT POSITIONING TYPE REMOTE MEETING METHOD (韓国 No.1020210122107)
- 03** ONLINE CONFERENCE METHOD USING REMOTE CONTROL (韓国 No.1020200189057)
- 04** REMOTE MEETING METHOD USING ARTIFICIAL NEURAL NETWORK (韓国 No.1020210045068)
- 05** REMOTE MEETING METHOD USING LIMITATION OBJECT (韓国 No.1020180096374)



#### Korea

서울시 강동구 고덕비즈밸리로2가길 1  
전화 : +82-70-7011-3900  
팩스 : +82-2-479-4429  
기술 문의 : support.kr@rsupport.com  
구매 문의 : sales.kr@rsupport.com

#### Japan

東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ汐留 10階  
購入前のご相談 : +81-3-6273-3871  
テクニカルサポート : +81-3-6273-3872

#### China

北京市朝阳区阜通东大街6号方恒国际A座2708  
咨询电话 : +86-10-8256-1810  
联系邮箱 : co-china@rsupport.com